

3/24

みんなで盛り上げよう、ねんりんピック！ リレーイベント開催

総合文化センターさつきホールで行われた「日南町伝統芸能祭」にあわせ、「ねんりんピック」リレーイベントが行われました。このイベントは、前回の「ねんりんピック」開催地である愛媛県から引き継いだ大会旗をバトンとして、県内全市町村をリレーするもので、この日は大会旗の引き渡しのほか、民謡歌手の佐藤松弘美さんによる民謡の披露が行われました。



ねんりんピックの日南町での開催種目は「民謡」で、10月20日に総合文化センターを会場に行われます。

3/27

モンゴルの子どもたちへ届け！ 寄贈された本が日南町を出発

日南町が友好交流関係を結んでいるモンゴル・ゾーンモド市へ贈る本が、この日役場を出発しました。これは、ゾーンモド市で日本語を学ぶ子どもたちへ日本語の本を贈り、子どもたちが様々な形で日本語に触れる機会が得られるようにと、町が企画したものです。



町からの呼び掛けは様々なメディアに取り上げられ、町内外の個人・企業・団体から寄せられた本約2,000冊を贈ることができました。この本は、ゾーンモド市にあるフムーン総合学校の日本語学級へ5月中に届けられる予定です。

3/29

農業研修生修了式 農業後継者としてそれぞれの道へ

農業後継者の育成を目的とする農業研修生制度の第13・14期生の修了式が、3月29日に行われました。この度研修を終えたのは、小谷芽衣さん、モントージャ・ジオバニさん、横山譲さん、横山愛華さんの4名で、小谷さんは印賀の㈱ファームイングへ就職、モントージャさんは独立就農、横山さん夫妻は神福の佐伯牧場を継承し、いずれも引き続き日南町で農業に従事します。



酪農での第三者継承は県内2例目で、横山さん夫妻は、「地域にはサポートをしてくださる方がたくさんいる。地域に根差した酪農をやっていききたい」とあいさつしていました。

3/23

eスポーツフェスタ in日南



eスポーツや最新デジタル機器を体験できる「eスポーツフェスタ in日南」が、役場交流ホールで行われました。「eスポーツ」とは、コンピューターゲームやビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技としてとらえた名称で、日南町では、IT分野で活躍できる人材の発掘・育成を目的としてeスポーツを活用した事業を行っています。

イベントでは、人気のゲームやデジタル技術を体験できる様々なブースが設置され、町内外から家族連れなどの来場がありました。来場者からは、「とても楽しかったのでまた来たい」「昔のゲームもあり、親子で楽しめた」などといった声が寄せられました。

3/26

赤木真理さんの書 モンゴルへ

鳥取県と友好交流関係を結んでいるモンゴル中央県は、令和5年に設立100周年を迎えました。この度、その記念として日南町から寄贈する掛軸が完成し、この作品を制作した赤木真理さん（宮内）が中村町長を訪問しました。



この掛軸には、「龍のように力強く翔け上がり、鳳凰のように華麗に舞う」「生き生きとして自在である様子」という意味の「龍翔鳳舞」という言葉が書かれており、発展や隆盛を祈る気持ちが込められています。

3/27

地域でともに生きるまちづくり 障がい者プラン策定

町では、障がい者福祉に関する今年度からの計画として、「日南町障がい者プラン」を策定しました。計画の策定にあたり広く町民の意見を聴取するため、「日南町障がい者プラン策定委員会」を設置し協議を行ってきました。この日は、同委員会会長の高橋長年さんが完成した計画案を中村町長へ手渡し、委員会での審議内容について報告を行いました。

町はこの計画に基づき、住み慣れた地域で誰もが望む就労や社会参加ができるよう、施策の実現に取り組んでいきます。

